



■レジ袋収益を寄付 食品スーパーのオレンジマート(富山市婦中町速屋、木村宏社長)は4日、展開する市内3店舗の有料レジ袋の売り上げ15万円をNPO法人きんたろう倶楽部(鏡森定信理事長)に寄付した。同社は毎年、レジ袋有料化に伴う収益を同NPOに贈っている。あそそ自然学校(上市町)とNPO法人森林総合支援センター(富山市)にも各10万円を寄付する。

4日は、同社の八箇利美取締役事業推進部長(写真中央右)と店舗運営部の橋詰礼子さん(同右端)が、富山市西金屋の同倶楽部事務局を訪れ、鏡森理事長(同中央左)と中野康英副理事長(同左端)に寄付金を贈呈した。八箇部長は「自然を生かした活動に役立ててもらいたい」

北日本新聞 平成27年6月5日(金)

鏡森理事長は「ありがたい。呉羽丘陵の里山文化づくりに向け連携を深めたい」と話した。寄付金は、同倶楽部が市ファミリーパークで行っている「さとやまの木道(こみち)」の整備に役立てられる。